

エコアクション21 環境経営レポート 2023年度版



対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

発行日：2024年6月10日



未知を想い、道をつくる

辰村道路

本社
金沢営業所
七尾営業所
津幡アスファルト工場

石川県金沢市疋田3丁目98

TEL 076-255-2471

FAX 076-255-2461

環境経営方針

環境経営方針

辰村道路株式会社は、企業理念の「自主・共生の精神を以って、クオリティ・カンパニーを目指す」に基づき、「環境にやさしい社会」に向けて、地域性及び環境への関連を考慮し事業活動を通じて、一人一人が積極的に参加・行動し、以下の環境経営方針の実現に取り組めます。

- 1 事業として取組の地球環境保全活動
より良い建設工事(舗装、土木、造園施工等)、アスファルト合材生産、アスファルト・コンクリート廃材等の中間処理事業活動を通じ、地球環境保全に寄与できる様努めます。
- 2 資源・エネルギーの効率的利用
資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況をチェックし、環境への負荷を認識し、以下の項目に努めます。
 - ① 省資源と節水
 - ② 省エネルギー
 - ③ リサイクル
- 3 環境関連法規の遵守
環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。
- 4 継続的環境改善の実施
事業活動により環境に与える影響を的確に把握のうえ、目的・目標を設定し取組結果を見直し、技術的経済的な可能性を考慮して、継続的な環境改善に取り組めます。
- 5 地域・社会貢献活動の推進
環境活動レポートを公表する等、地域社会の一員として地域・社会貢献の推進に努めます。
- 6 環境啓発教育活動の推進
環境保全に関する情報提供を行い、啓発・教育活動の推進に努め、基本の汚染防止と資源・エネルギー運動となる「5S運動」「5R運動」を全員参加で継続的に進めます。

2023年6月1日 制定
金沢市足田3丁目98

辰村道路株式会社

代表取締役社長 関 隆

環境活動実施事業所

-エコアクション21-

辰村道路(株)

「環境活動評価プログラム(EA21)」

2002年10月1日 環境行動計画書に基づき実施
2002年12月2日 石川県環境政策課へ提出
2002年12月27日 (社)全国環境保全推進連合会の「参加登録証明書」受理
2003年9月1日 環境省EA21認証制度に向け「パイロット事業所」参加申込
2005年6月27日 環境省EA21認証・登録

5S・5R 運動は定期的実施する。 習慣となる様にする

現在	毎週金曜日	工事車輛の一斉点検
	毎週月曜日	事務所の一斉清掃

5 S 運動

整理	要、不要の区分をはっきりさせ、不要物を撤去する
整頓	必要な物を、必要な時に効率良く取出せる状態にする
清潔	整理・整頓・清掃がいつも維持されている状態にする
清掃	職場をゴミ無し、ヨゴレ無しの綺麗な状態にする
躰	職場の規律・ルールが正しく実行できるよう習慣づける

ムダを省き、ミス無くし、安全になり、早く仕事が進み、気持ち良くなる

5 R 運動

リフューズ	拒否	Refuse	不要な物は買わず、受取らず、持込まず
リデュース	削減	Reduce	ゴミの発生抑制、買う使う量を減らす
リユース	再使用	Reuse	再使用できる物は徹底して使い切る
リサイクル	再生	Recycle	作り直して再生利用する、積極的な再資源化
リターン	返却	Return	購入先に戻せる物は戻す
+1 リペア	修理	Repair	修理して長く使う

環境保全活動につながりコストダウンとなる

環境行動計画

2023年6月1日

1. 事業者活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

辰村道路株式会社
代表取締役社長 関 隆

(2) 所在地

本社 千920-0003 石川県金沢市疋田3丁目98
TEL 076-255-2471
金沢営業所 千929-0345 石川県河北郡津幡町太田ち44
TEL 076-255-6890
七尾営業所 千926-0816 石川県七尾市藤橋町ラ部1
TEL 0767-53-3491
津幡アスファルト工場 千929-0442 石川県河北郡津幡町大坪ナ20
TEL 076-288-1101

(3) 法人設立年月日

1972年10月5日

(4) 資本金

5,000万円

(5) 売上高

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	1,573	1,590	1,741
従業員	人	53	52	56
床面積	m ²	412	412	412

(6) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理統括責任者 総務企画部課長 太田 亘彦

環境担当者 EMS事務局 太田 亘彦

(7) 組織図

詳細は別紙の通り (2.環境保全実施体制)

(8)事業内容

建設業許可 石川県知事 許可(特-2) 第18290号

建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、造園工事業、アスファルト合材の製造・販売並びにアスファルト廃材中間処理・収集運搬業

産業廃棄物処理業許可

中間処理知事許可 許可の年月日 2023年6月26日
許可の有効年月日 2028年5月6日
許可番号 第01723003103号

収集運搬知事許可 許可の年月日 2019年10月4日
許可の有効年月日 2024年9月26日
許可番号 第01709003103号

(9)施設の内容

詳細は別紙の通り (1-1 収集運搬業者:運搬車両の種類と台数)
(1-2 処理業者:処理施設の種類、産廃の種類、規模、処理方式、処理工程)

(10)認証登録範囲(別表参照)

全組織: 本社・金沢営業所・七尾営業所・津幡アスファルト工場

全活動: 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、造園工事業、アスファルト合材の製造・販売並びにアスファルト廃材中間処理・収集運搬業

(11)中間処理量実績

2023年中間処理量実績 11,925t

2023年収集運搬実績 101t

	2021年	2022年	2023年
中間処理量実績	18,957	17,008	11,925
収集運搬実績	871	334	101

単位:t

積み替え保管施設

産業廃棄物の保管施設 NO.1	
保管する産業廃棄物の種類	がれき類等 アスファルトコンクリート破片
面積	1,278m ²
容積	3,412m ³
積上高さ	5m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.1-1	
保管する産業費器物の種類	がれき類等 AS・再生骨材(0~13mm)
面積	320m ²
容積	298m ³
積上高さ	2m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設NO.1-2	
保管する産業廃棄物の種類	がれき類等 AS・再生骨材(0~13mm)
面積	24m ²
容積	32m ³
積上高さ	2m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.1-3	
保管する産業費器物の種類	がれき類等 AS・再生骨材(0~13mm)
面積	66m ²
容積	88m ³
積上高さ	2m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.1-4	
保管する産業廃棄物の種類	がれき類等 AS・再生骨材(0~13mm)
面積	200m ²
容積	202m ³
積上高さ	2m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.1-5	
保管する産業費器物の種類	がれき類等 AS・再生骨材(0~13mm)
面積	250m ²
容積	262m ³
積上高さ	2m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.1-6	
保管する産業廃棄物の種類	がれき類等 AS・再生路盤材(0~40mm)
面積	100m ²
容積	82m ³
積上高さ	2m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.2	
保管する産業廃棄物の種類	がれき類等 コンクリート破片
面積	25m ²
容積	10m ³
積上高さ	1m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設NO.2-1	
保管する産業費器物の種類	がれき類等 CO・再生路盤材(0~40mm)
面積	25m ²
容積	10m ³
積上高さ	1m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.3	
保管する産業廃棄物の種類	がれき類等 瓦廃材
面積	25m ²
容積	10m ³
積上高さ	1m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

産業廃棄物の保管施設 NO.3-1	
保管する産業費器物の種類	がれき類等 瓦再生路盤材(0~13mm)
面積	25m ²
容積	10m ³
積上高さ	1m
管理者及び連絡先	新木 敏典 076-288-1101

許可内容一覧

産業廃棄物処分業

県・市	取得年月日 有効期限	許可番号	ガラスくず	コンクリートくず 陶磁器くず	がれき類
石川県	令和5年6月26日	第01723003103号	○	○	○
	令和10年5月6日				
金沢市	令和5年6月26日	第01723003103号	○	○	○
	令和10年5月6日				

事業の範囲

破碎

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず※(コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片、廃粘土瓦に限る)

がれき類(コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片、廃粘土瓦に限る)

(※:自動車等破碎物であるものを除く)

これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの及び石綿含有産業廃棄物であるものを除く以上2種類

乾燥

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず※(アスファルト・コンクリート破片に限る)

がれき類(アスファルト・コンクリート破片に限る)

これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの及び石綿含有産業廃棄物であるものを除く以上2種類

産業廃棄物収集運搬業

県・市	取得年月日 有効期限	許可番号	ガラスくず	コンクリートくず 陶磁器くず	がれき類
石川県	令和1年10月4日	第01709003103号	○	○	○
	令和6年9月26日				
富山県	令和4年9月5日	第01609003103号	○	○	○
	令和9年9月4日				

事業の範囲

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず※(コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片に限る)がれき類(コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片に限る)

(※:自動車等破碎物であるものを除く)

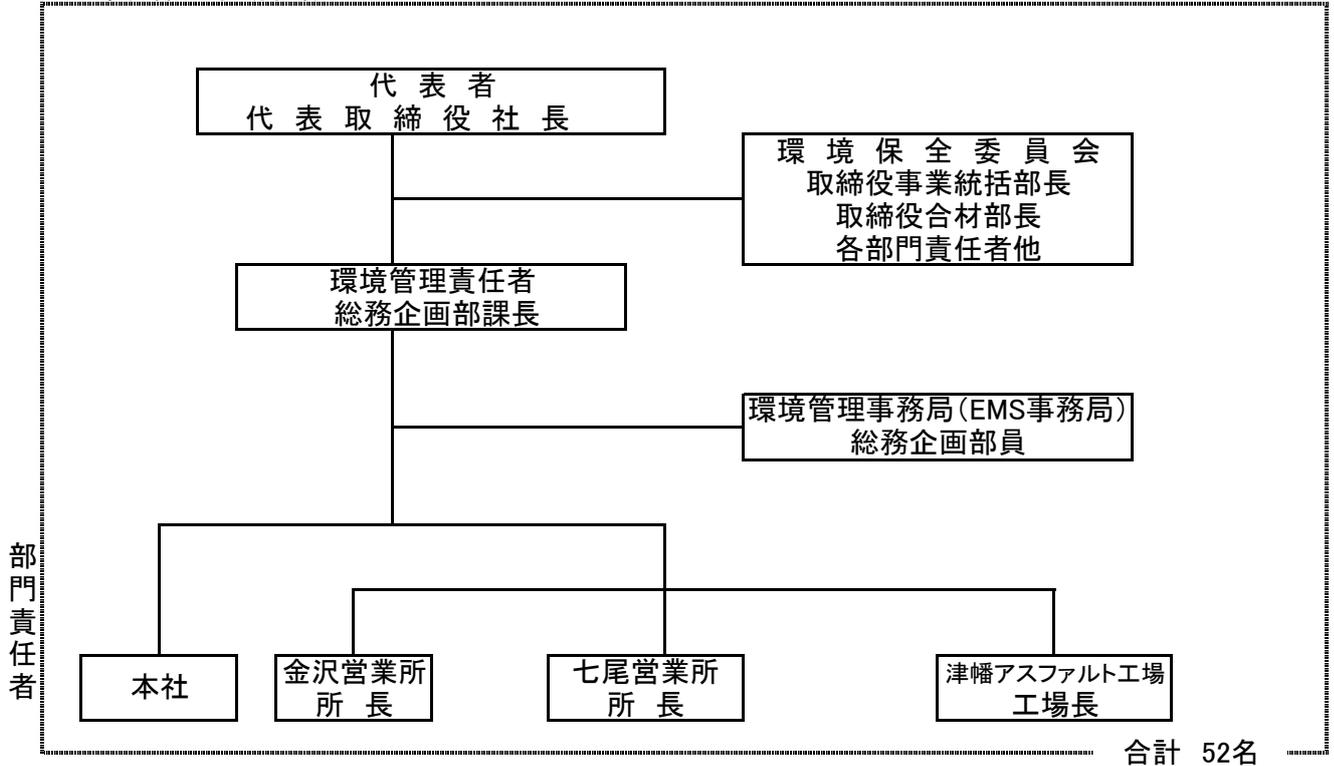
これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの及び石綿含有産業廃棄物であるものを除く以上2種類

2. 環境保全実施体制

2024年3月31日 現在

環境保全活動を実施するために、部門・階層の責任役割を定める。

(1) 環境保全活動組織図



(2) 責任者の役割分担

<p>○代表者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の作成 ・環境管理責任者の任命 ・経営資源(人、もの、資金)の提供 ・全体の評価、見直し等の実施 	<p>○環境管理責任者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標と実績の進捗管理 ・環境関連法規の遵守の評価 ・エコアクション21全体の運用を行う
<p>○部門責任者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画に実施 ・問題点の是正処置 	

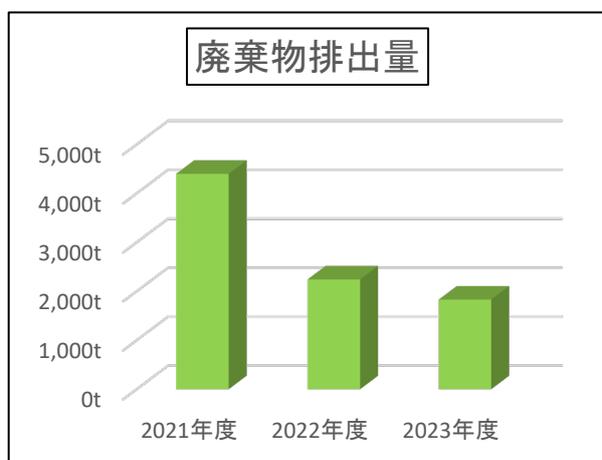
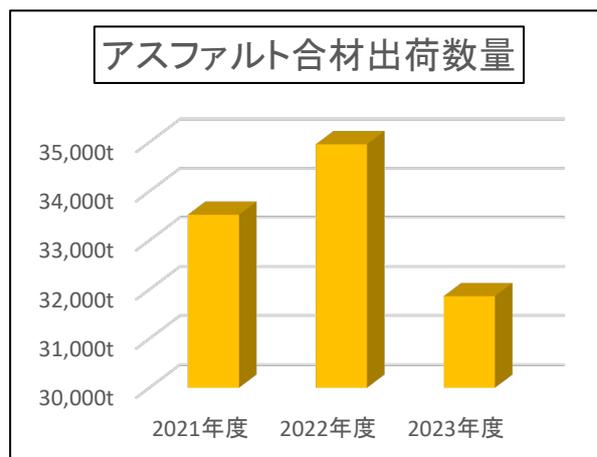
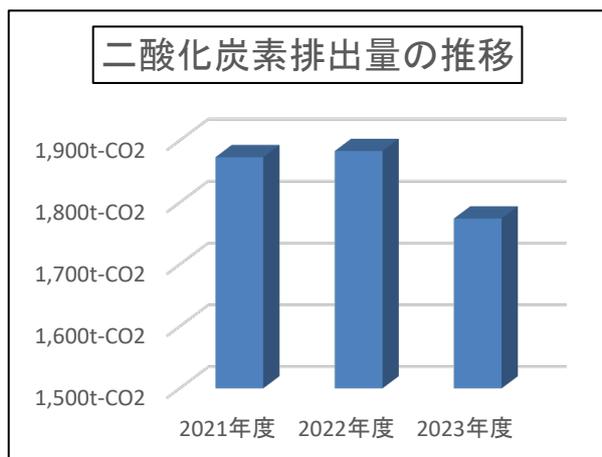
3. 環境への負荷の現状

(過去3年間の実績)

(期間は4月から翌年3月を1年間とし全社で実施する)

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量(自動車用含む)	t-CO ₂	1,873	1,883	1,774
アスファルト合材出荷数量	t	33,520	34,955	31,863
アスファルト合材出荷数量原単位	t-CO ₂ /t	5.59	5.39	5.57
廃棄物排出量	t	4,398	2,241	1,830
再資源化率	%	100.0	100.0	100.0
水使用量	m ³	502	422	406

1. 廃棄物排出量総量に関し、アスコン廃材の発生がほとんどを占め、同発生材はアスファルト合材等に100%再生使用されます。



二酸化炭素排出量の内訳

エネルギー		単位	2021年度	2022年度	2023年度
燃料	重油	t	1,030	1,061	1,012
	灯油	t	3.4	5.0	3.8
	LPG	t	20.3	19.7	25.3
購入電力		t-CO ₂	406	412	398
CO ₂ 排出量(自動車を除く) 計		t	1,460	1,498	1,439
自動車用燃料	ガソリン	t	96	100	98
	軽油	t	317	285	236
CO ₂ 排出量(自動車用燃料) 計		t	413	385	334
CO ₂ 排出量 合計		t-CO ₂	1,873	1,883	1,774

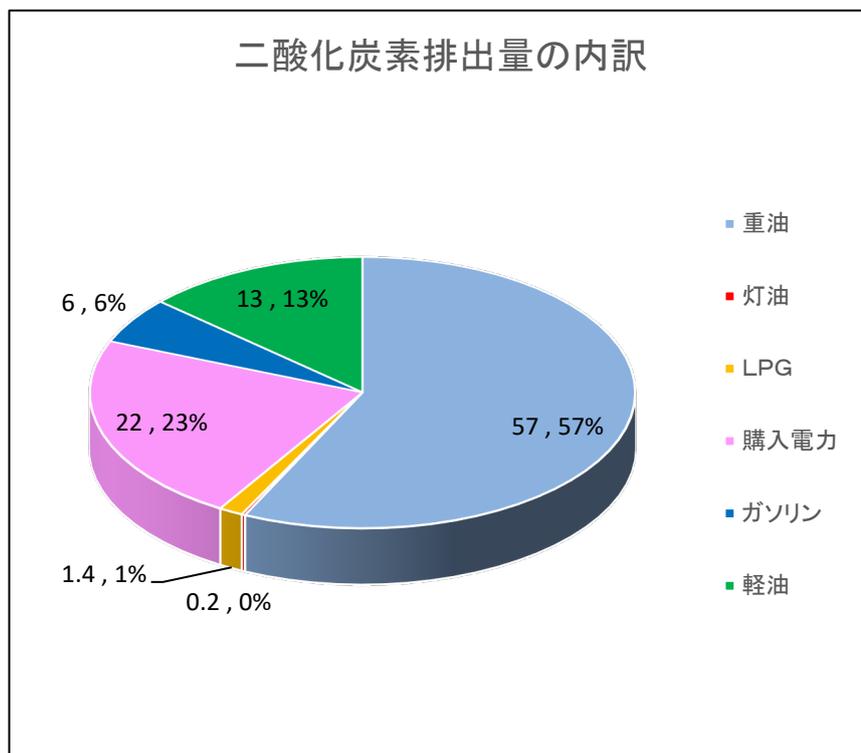
購入電力の二酸化炭素排出係数は0.526kg-CO₂/KWh

(参考) データの内容について

1. 二酸化炭素排出量は、津幡アスファルト工場の燃料が大部分を占めその他は業務用自動車燃料がほとんど占めている。
2. 燃料の重油は津幡アスファルト工場が主である。
3. 自動車燃料は、舗装用重機及び工事用貨物車両が主である。
4. LPGは工事内容、自動車燃料は施工場所の、影響を大きく受けている。

○ 二酸化炭素排出量減少の原因として考えられる事

- ・主となるアスファルト合材の出荷量が減少した。
- ・LPGの使用量は工事量の増加に伴い増えた。
- ・ガソリンに関しては、営業及び工事車両、通勤使用だがほぼ横ばいである。



4. 2023年度環境経営計画の内容と環境活動の取組結果の評価

(1) 工事部門における環境への負荷の低減・管理

工事現場では排気ガス対策型の重機を優先的に使用し、また、排出される廃棄物についてもリサイクル率100パーセントを目指して管理しているが、以下の事項について工事現場の管理を徹底することに重点をおく。

取 組 み 内 容	管 理 者(部門長)		
重機機械及び車両の不必要なアイドリング管理の徹底	○		
アクセルむら(急、発信・停止・加速)の無い運転の徹底	○		
重機機械及び車両の点検整備の徹底(吸気系・潤滑油等)	○		
コンクリート廃材及びアスコン廃材の再資源化施設排出率100%の徹底		△	
雨水及び現場排水の再利用徹底			×

評価基準 ○=達成できた △=ほぼ達成できた ×=達成できなかった

(2) 管理部門における環境への負荷の低減・管理。

取 組 み 内 容	管 理 者(部門長)		
昼休み及び不必要な部分の消灯の徹底	○		
照明器具購入時、高効率の電球等への変更	○		
冷暖房器具の使用時期及び温度の制限		△	
窓の適正な開閉により無駄な冷暖房をやめる	○		
コピー紙の再生紙への移行及び両面使用の徹底	○		
社内ラン、プロジェクターをもっと活用して、社内決裁・情報伝達のペーパーレス化を更に進める		△	
定期的な漏水調査と冬期の水道管凍結防止対策の徹底		△	
植木・花壇の散水は雨水を貯めた水を利用		△	
トイレ用水垂れ流し対策に水使用自動感知機の設置	○		
今後は機材(パソコン、プリンター、コピー機、照明器具、空調機)の買い換えの際は、省エネタイプのもを購入する	○		

評価基準 ○=達成できた △=ほぼ達成できた ×=達成できなかった

(3) 津幡工場部門における環境への負荷の低減・管理

津幡工場では、重油・電気等の使用量が多く今後は設備の導入及び修理改善についてはエネルギー効率などを考え実施していく。

取 組 み 内 容	管 理 者(部門長)		
アスファルト合材製造に関する骨材、細砂、粗砂等を納入する業者に、水分含有量を少なくするように指導し、ドライヤー(骨材乾燥炉)に使用する重油を削減する	○		
冷暖房器具の使用時期及び温度の制限	○		
工場敷地清掃散水及び重機車両の洗車は雨水を貯めた水を利用する		△	

評価基準 ○=達成できた △=ほぼ達成できた ×=達成できなかった

※2024年度も本計画を継続していくこととします。

5. 2023年度の環境経営目標の達成状況と取り組み結果の評価

当社における2023年の取組結果は下記のようになった。

	単位	基準値	目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量(自動車用含む)	t-CO ₂	2,150	2,129	1,774	120%	○
アスファルト合材出荷数量	t	44,816	40,000	31,863	80%	△
アスファルト合材出荷数量原単位	t-CO ₂ /t	4.80	4.75	5.57	85%	△
廃棄物排出量	t	4,730	-	1,830	-	-
再資源化率	%	100.0	100.0	100.0	100%	○
水使用量	m ³	617	611	406	150%	○

評価基準 ○=達成 △=75~99%ほぼ達成 ×=75%未満 未達成

- (1) 二酸化炭素排出量について目標値を下回った。これは主に重油やガソリン、灯油等の化石燃料の使用量が減った為である。また、主となるアスファルト合材の出荷量が2023年度目標を大幅に下回った(計画比79.7%)ことに起因している。アスファルト合材出荷数量原単位については製造工程等でのロスや連続運転の頻度低下による燃費の悪化が影響しており目標値を達成出来なかった。軽油、ガソリンの使用量については目標値をクリアしており、今後も節減に努めていきたい。
- (2) 廃棄物排出量総量に関しアスコン廃材、コンクリート廃材は自社で再資源化を実施し、廃木材、廃プラ等は再資源化率100%を達成できる処理業者を選定し依頼していきたい。廃材及びアスコン廃材の再資源化の徹底を続けていく。
- (3) 自ら施工、販売、提供する製品及びサービスに関する環境配慮として加熱アスファルト混合物による表面処理工法(ニッポカーペット)
 中小橋の増厚工事に低騒音型床版上面増厚工法(スマートオーバーレイ工法)
 ストレートアスファルトによる路上路盤再生工法(フォームドFRB工法)
 路面の雨水排水を考慮した(排水性舗装)等の特殊工法により環境配慮を実施して行く。
 収集運搬時の環境配慮として排ガス規制車を今後も継続採用して行きたいと思う。

6. 環境関連法規の順守評価と違反、提訴の有無

主なる適用法規名称	法のポイント	当社の対応	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	1.産業廃棄物の保管は保管施設で行う	表示板(600×600)以上	○
	2.運搬処分は許可を受けたものが行う	許可証(番号、有効期限、契約書等)	○
	3.管理表(マニフェスト)	運搬処分は90日、最終処分は180日	○
	4.収集運搬車の表示	許可番号等の表示	○
	5.マニフェストの使用状況の報告	毎年、前年度分を6月末までの報告	○
	6.処分業許可証の有効期限等の確認	許可証(番号、有効期限、契約書等)	○
	7.産業廃棄物処理委託契約書の管理	契約内容や添付書面の確認	○
	8.保管基準による掲示板の設置	必要事項を記載した看板の設置	○
	9.産業廃棄物処分実績報告書の提出	毎年、前年度分を6月末までの報告	○
建設工事に係る再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	対象工事(80㎡以上の解体等)は 1.分別(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト・コンクリート)再資源化を行う義務がある	国の目標:2010年再資源化率95% 当社目標100%を目標とする。(アスファルト)(分別、処理フロー、マニフェストで量管理)	○
	2.請負物件に関する届出義務	工事届出書 許可証(番号、有効期限、契約書等)	○
大気汚染防止法 (大汚法)	ばい煙発生施設等設置の事前届出と排出基準の遵守	ばい煙は1㎡~4000㎡で届出をしている 測定は年2回測定している 建設機械は排ガス対策型を使用する 国土交通省直轄工事の施工では、建設機械に関する技術指針に従う	○
消防法 (危険物関連)	消防法で規定する危険物を指定数量以上貯蔵、取扱い、運搬する場合に適用		
	1.貯蔵所、取扱所の設置、変更許可 2.危険物取扱者の選任	平成21年津幡消防署更新許可 危険物取扱者乙種四類	○ ○
騒音規制法	1.指定区域の確認	現場の指定区域の確認	
	2.事前届出	指定区域では7日前までに市町村長へ	
	3.基準の遵守	指定区域では基準を超え無い事	
振動規制法	1.指定区域の確認	現場の指定区域の確認	
	2.事前届出	指定区域では7日前までに市町村長へ	
	3.基準の遵守	指定区域では基準を超え無い事	
フロン排出抑制法	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化の厳守	第一種特定製品の3ヶ月に1回の簡易点検の実施、点検及び整備に関する記録簿の作成	
浄化槽法	し尿等の雑排水は、浄化槽で処理後公共用水域へ		
	1.浄化槽の設置は知事に届出	事務所建築時に設置届出済(届出書)	○
	2.浄化槽設置後の法定検査(水質検査等)	1回/年の法定点検(法定検査報告書)	○
	3.保守点検	21~300人以下用→1回/2ヶ月(点検報告書)	○
	4.浄化槽保守点検は、浄化槽管理者が行う	点検業者との契約書	○

当社に於いては過去5年間、企業活動において環境関連法規機関から特に指摘もなく、各事業所の近隣の住民その他関係者からの重大な苦情クレーム等は発生せず、関連する環境保全関係法・条例に対する違反・訴訟等もありませんでした。今後も関係官庁と密に連絡をとり、法令・条例を順守していく事を会社全体で確認していきます。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年度は、前年より売り上げ全体で約9.5%の売り上げ増となったが、アスファルト合材の出荷数量については前年の約10%減という結果となった。会社としては主となる舗装工事付工事が増える様に営業強化の実施をしていきたい。二酸化炭素排出量に関しては、前年実績及び目標ともに達成した。今後も節約に努め2024年度も目標達成を目指します。

2024年5月30日

代表取締役社長 関 隆

8. 2023年度以降の環境経営目標

(1) 環境への負荷の低減目標

二酸化炭素排出量は毎年、前年度の値を基準に1%を目標に削減していきます。

※アスファルト合材出荷数量は除く

(期間は4月から翌年3月を1年間とし全社で実施する)

	単位	2022年度 (目標)	2022年度 (実績)	2023年度 (目標)	2023年度 (実績)	2024年度 (目標)
二酸化炭素排出量(自動車用含む)	t-CO ₂	1,864	1,883	2,129	1,774	1,756
アスファルト合材出荷数量	t	35,000	34,955	40,000	31,863	41,100
アスファルト合材出荷数量原単位	t-CO ₂	5.33	5.39	4.75	5.57	5.51
廃棄物排出量	t	-	2,241	-	1,830	-
再資源化率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
水使用量	m ³	418	422	611	406	402

負荷の大部分は津幡アスファルト工場であり金沢営業所、七尾営業所に於いての負荷は少ない。

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.526kg-CO₂/KWh

(2) その他の目標

上記のほか、具体的な目標として以下のものを検討する。

1. 工事運搬車両運行の効率化

- ・ 通勤時の送迎及び運行車両の適正なルート、曜日、時間帯、相乗り及び稼動予定を管理し、輸送コストの低減についての目標を検討する

2. 建設機械及び運搬車両で使用する燃料の低減

- ・ 不要なアイドリングを停止する
- ・ アクセルむら(急、発進・停止・加速)の無い運転をする
- ・ 重機機械類の購入にあたっては低燃費・排ガス節減型を選定する

3. その他

- ・ これらのほか、大気汚染物質、水質汚染物質、騒音、振動等については、関係法令による規制を遵守する

運搬車両の概要

(1) 運搬車両の一覧表

車 両	型式・寸法	自動車登録番号	能力(積載量)	備 考
運 搬 車	ダ ンプ	金沢100さ3357	3750kg	自家用
運 搬 車	ダ ンプ	金沢100さ3817	3700kg	自家用

(2) その他の運搬車両の概要 該当車両なし

津幡アスファルト工場紹介

住 所 石川県河北郡津幡町大坪ナ20
TEL 076-288-1101 FAX 076-288-1102
E-mail puranto@tatumura.com

アスファルト合材生産施設

アスファルトプラント

* 騒音振動対策・大気汚染対策等、環境保全に万全を尽くした無公害プラントです。

* 1.3トン練りのミキサーと120トンの合材サイロで、ラッシュ時1時間当り 180トンの出荷能力があります。



アスファルトプラント

骨材貯蔵設備

コルゲートサイロ

231m³× 2基

118m³× 4基

フレックスコンベヤー

120t/H



コルゲートサイロ

リサイクルプラント

* 1時間最大 30tのリサイクル製造

* サージビン60t

* 再生骨材ホッパー2基

* アスファルト廃材を100%有効利用致します。



加熱式リサイクルプラント

設備概要

設備名	アスファルトプラント	リサイクルプラント
材料貯蔵設備	コルゲートサイロ 118m ³ ×4基 231m ³ ×2基	ストックヤード 100t×1基 60t×1基
骨材ホッパー		8m ³ ×2基
乾燥加熱装置	バーナー 低騒音型 最大燃焼量 770 ℓ/h ドライヤー φ2.5m×8m 70 t/h	バーナー 300 ℓ/h ドライヤー φ2.3m×9m 60 t/h
排気集塵装置	一次集塵 ノックアウトボックス型プレガスタ 二次集塵 パルスジェットエア式バグフィルタ 煙 突 φ0.8m 高さ18.0m	一次集塵 ノックアウトボックス型プレガスタ 二次集塵 ミストコレクター 煙 突 φ0.8m 高さ17.0m
篩分貯蔵計量装置	スクリーン 1.2m×2.4m 90 t/h ホットビン 4分割 容量10m ³ 24時間 保存型 計量装置 4種類累積ロードセル	サージビン 60t 72時間保存型
混合装置	ミキサー2軸パグミル型 容量1.3t	トロリー計量
合材サイロ	1基 計 120t 72時間保存型 夜間手動出荷装置付き	
アスファルトタンク	2基 計 60t	添加剤タンク 0.5t
石粉サイロ	80t×1基、計 80t	
燃料タンク	30kℓ×1基	
トラックスケール	ピットタイプ 35t計量	



総合操作盤

辰村道路㈱は、一般舗装用合材の製造・販売・施工はもちろん、各種カラー合材や、排水性合材の製造・販売・施工も致します。
また、アスファルト廃材の受入れ、再生路盤材の製造・販売も致します。
現在、リサイクル・エコロジーに積極的に取り組んでいます。

再生処理施設

建設廃材を受入れ、再生処理をしてアスファルト廃材はアスファルト再生骨材、再生路盤材としてリサイクルします。

設備概要

原料ホッパー	W:3.1m×L:2.2m
グリッドフィーダー	W:1.2m×L:2.0m 40mm以下
スクリーン 3段	W:1.2m×L:2.6m 3段
インパクトクラッシャー	W:1.14m×L:0.77m ローター径1.25m
磁選機	1基
製造能力	アスファルト再生骨材(13~0) 30 t/h
	再生路盤材 45 t/h

産業廃棄物処分業許可証

中間処理知事番号 第01723003103号
 収集運搬知事番号 第01709003103号

破碎施設全景



品質管理施設

当工場は各種施設を完備して多様なニーズに対応し、高品質な製品製造を心掛けてまいります。



自動アブソン

主要設備

アブソン、ソックスレー抽出器一式
自動針入度貫入試験機
自動軟化点試験器
アスファルトミキサー
アスファルト自動突固め試験機
マーシャル安定度試験機
アスファルト含有量測定器
透水性試験機